

# 娘さんを持つ保護者の方へ



## 子宮けいがんはワクチン接種と検診で撲滅できるがんです

### HPVワクチンの積極的接種勧奨が再開

2021年11月、厚生労働省はHPVワクチンの積極的接種勧奨を再スタートすることを決定しました。

現在定期接種（無料）のHPVワクチンはサーバリックス®（2価）、ガーダシル®（4価）、シルガード® 9（9価）の3種類で、国内外の研究結果から、改めてワクチンの安全性や、接種による子宮けいがんの予防効果などのメリットが副反応などのデメリットよりも上回ることを確認して、皆さまに接種をお勧めしています。

特に、セクシャルデビュー前にワクチン接種をすることで、子宮けいがんの原因の2価・4価ワクチンは50

～70%、9価ワクチンは80～90%を占めるウイルスへの感染を、ほぼ100%予防することができます。

なお、ワクチン接種後に広範囲に広がる痛みや手足の動かしにくさなどの症状が起きたとの報告がありました。これはワクチン接種とは関係なく思春期の女の子に一定数見られる症状であることが最近の研究で明らかとなっています。

保護者だけでなくお子さま自身にもワクチンの効果とリスクについて理解を深めていただき、接種をご検討ください。

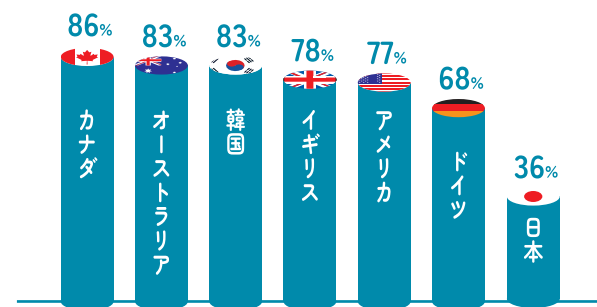
### 世界の動き

2020年11月、WHO（世界保健機関）は、2030年までに15歳以下の女子のHPVワクチン接種率を90%まで高めることを盛り込んだ目標を設定しています。

世界では、137カ国で公的な予防接種が行われており、2024年のカナダ、オーストラリア、韓国の接種率は80%を超えています。

日本では、子宮けいがんの罹患率・死亡率が先進国で最も高い水準となっている一方で、オーストラリアではワクチン接種と検診を組み合わせることにより、2028年には世界に先駆けて新規の子宮けいがん患者がほぼいなくなるとのシミュレーションがなされています。

HPVワクチン接種率（2024年）



出典：WHO HPV vaccination coverage  
※2024年に15歳になる女子のうち、9歳から14歳の間に少なくとも1回接種を受けた割合



# 子宮けいがん予防 恥ずかしがらずに ちゃんと聞きな。 「知らん」じゃ 済まんから。



岡山県公式バーチャルインフルエンサー 御瀬桃音

### HPVワクチンの接種

小6から  
高1相当  
**無料**

### 子宮けいがん検診

20歳を  
過ぎたら  
**定期的に**



### 伊原木知事からのメッセージ

子宮けいがんは予防できるがんです。しかしながら、日本では子宮けいがん対策の遅れにより、女性のかげがえのない命と健康が今なおリスクにさらされており、私は大きな危機感を覚えています。

皆様に子宮けいがん予防の正しい情報がしっかりと行き届き、子どもたちが幸せな未来を描き将来の夢や希望が実現できることを願っております。

岡山県知事 伊原木 隆太

### お問い合わせ

岡山県 疾病感染症対策課	▶ HPVワクチンに関すること	感染症対策班	TEL (086) 226-7331
	▶ がん検診に関すること	疾病対策班	TEL (086) 226-7321

子宮けいがんに関する情報は下記ホームページをご覧ください

岡山県  
「子宮けいがんの予防について」



厚生労働省  
「ヒトパピローマウイルス感染症  
～子宮けいがんとHPVワクチン～」





# 子宮けいがんって、なに!?

子宮けいがんは、毎年多くの若い女性から「いのち」と「未来」を奪っています

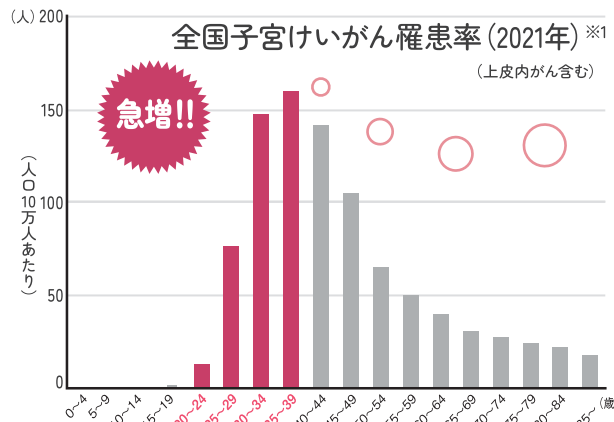
日本では、毎年約1万人が子宮けいがんにかかり、約3,000人が亡くなっています。

**20代・30代の若い世代で急増**するのが特徴です。

30代までに治療の過程で子宮を失う人も年間約1,000人いると考えられており、手術やその後遺症でライフプランが大きく変わってしまう可能性があります。

**子宮けいがんは予防できるがん**です。女子だけの問題ではなく、男子も大切な人を守るという気持ちで一緒に考えましょう。

がんなんて自分にはまだ関係ないと思ってる?



20代・30代のあなたは何をしていますか?  
仕事、恋愛、結婚、出産、育児...  
あなたの未来にはたくさんの選択肢があります

一生のうち子宮けいがんになる人  
**女子77人のうち1人** ※2

子宮けいがんを命を落とす人  
**女子301人のうち1人** ※3

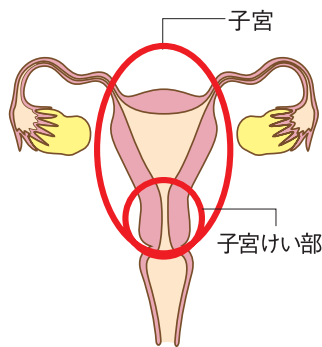
【出典】国立がん研究センターがん情報サービス  
※1.「がん統計」(全国がん登録) ※2.累積がん罹患リスク(2021年データに基づく)  
※3.累積がん死亡リスク(2023年データに基づく)

## #01 子宮けいがんってどんな病気なの?

子宮けいがんは、子宮の入口付近にでき、ほとんど自覚症状がなく、**症状が出た時にはかなり進行していることも...**

**症状** 生理に関係ない出血、おりものの増加、下腹部や腰の痛みなど

**治療** 早期に発見されれば、子宮を残すことも可能ですが、手術では子宮の一部を切り取るため、**不妊症になったり、妊娠した時に流産のリスクが高まる**可能性があります。  
もっと進行すると、子宮を広範囲に取る手術や放射線治療が必要となり、**手術の後遺症**(おしっこが出にくい、足がむくむ等)に苦しんだり、場合によっては、**命を落とす**ことがあります。



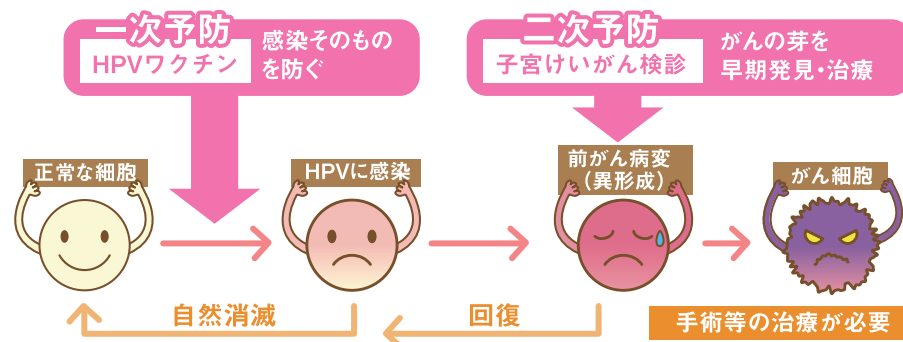
## #02 子宮けいがんの原因ってなに?

主な原因は、HPV(ヒトパピローマウイルス)への感染です。HPVはとでもありふれたウイルスで、**一度でも性的接触があれば男女を問わず誰でも感染**する可能性があります。

通常は感染しても自然に消えますが、一部は数年から十数年かけて子宮けいがんになってしまうことがあります。

## #03 子宮けいがんの予防方法ってなに?

ワクチン(一次予防)と検診(二次予防)の両輪で予防することができます。



子宮けいがんの進行

# 予防ってどうするの?

気になることがあれば気軽に相談してね

## HPVワクチンの接種

### ◆ なにがいいの?

現在定期接種(無料)のHPVワクチンを接種すると、子宮けいがんの原因の2価・4価ワクチンは50~70%、9価ワクチンは80~90%を占めるウイルスへの感染を予防することができます。

性的接触で感染するため、**セクシャルデビュー前に接種**することが最も効果的です。また、年齢が若いほど免疫反応が良いので、希望する場合はなるべく早めに接種しましょう。

### ◆ 注射は痛いんでしょ?

筋肉注射なので、直後は、注射した部分の痛みや腫れ、赤みなどの症状が起こることがあり、まれに、重いアレルギー症状や神経系の症状が起こることがあります。

HPVワクチンだけでなく、どんな予防接種にも副反応リスクはあります。注射への恐怖や不安が少しでもある人は、無理をしないでお医者さんや周りの大人に相談しましょう。

### ◆ ワクチンを接種するにはどうしたらいいの?

HPVワクチンは予防接種法に基づく定期接種で、**対象者は公費(無料)**で接種することができます。16歳未満の人は保護者の同意が必要ですので、まずは保護者に相談してみましょう。

接種することが決まったら、**予約が必要**ですので、接種場所などをお住まいの市町村のホームページ等で確認しましょう。



市町村予防接種担当窓口

## HPVワクチン定期接種

無料

### ▶対象者

**小学校6年生から高校1年生相当の女子**

※上記以外は有料(3回接種で約4~10万円)

### ▶HPVワクチン種類

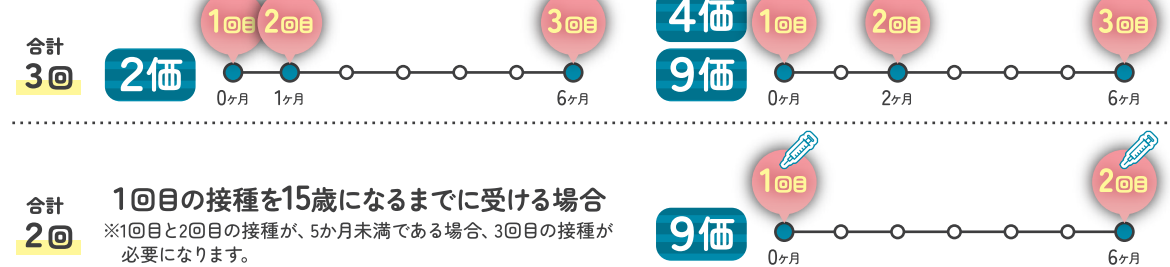
**2価ワクチン**  
サーバリックス®

**4価ワクチン**  
ガーダシル®

**9価ワクチン**  
シルガード9®

のいずれか

### 接種スケジュール



### ◆ 接種後に症状がでたらどこに相談したらいいの?

予防接種後に気になる症状が現れたら、**すぐに接種をした医療機関やかかりつけのお医者さんに相談**しましょう。さらに、次の窓口にも相談できます。

#### ▶不安や疑問、困ったことがあるとき

岡山県保健医療部疾病感染症対策課 TEL (086)226-7331  
岡山県教育庁保健体育課 TEL (086)226-7591

#### ▶予防接種による健康被害の相談

お住まいの市町村の予防接種相談窓口にお問合せください。

#### ▶接種後に生じた症状に関する診療の相談 (お医者さんを通じて相談します)

岡山大学病院産科婦人科 TEL (086)223-7151(代表)  
川崎医科大学附属病院産婦人科 TEL (086)462-1111(内線23630)

## 子宮けいがん検診

### なんで検診が必要なの?

ワクチンでは感染を予防できない型のウイルスもあります。自覚症状がなく気づきにくい病気ですので、**必ず20歳になったら定期的に検診**を受けて、がんを早期に発見し治療しましょう。

### 検診はどんなことをするの?

一般的な検診では、子宮けい部の細胞を採取して異常の有無を調べる5分程度の簡単な検査です。検診で見つかりにくい種類のがんも増えていますので、ワクチンによる予防も大切です。

### 検診はどうしたらいいの?

子宮けいがんの定期検診は、  
①**職場**(お勤め先で受診できる場合)  
②**市町村**(お勤め先で受診できない場合)で実施していますので確認しましょう。  
また、産婦人科に相談してみるのも良いでしょう。



市町村がん検診担当窓口▲